

令和8年1月21日

埼玉県感染症発生動向調査事業



感染症患者発生情報（週報）

埼玉県内情報 2026年 第3週 (1月12日~1月18日)

一類及び二類（結核を除く）感染症	報告なし
三類感染症 腸管出血性大腸菌感染症	2人 類型 無症状病原体保有者 2人 血清型 O55 1人、不明 1人
四類感染症 E型肝炎	1人 推定感染地域 国内
レジオネラ症	1人 病型 無症状病原体保有者
五類感染症 アメーバ赤痢	2人 病型 腸管アメーバ症 2人
カルバペネム耐性腸内細菌目細菌感染症	1人 菌種 Escherichia sp.
劇症型溶血性レンサ球菌感染症	3人 血清群 A群 1人、B群 1人、不明 1人
後天性免疫不全症候群	1人 病型 その他
侵襲性肺炎球菌感染症	3人
水痘（入院例）	1人 病型 臨床診断例
梅毒	12人 病型 早期顕症Ⅰ期 5人、 早期顕症Ⅱ期 4人、 無症状病原体保有者 3人
百日咳	17人
	年齢階級 8歳 1人、10歳代 5人、20歳代 4人、 40歳代 6人、80歳代 1人

＜定点把握疾患の患者情報＞

インフルエンザ（11.01*→12.23:図1-1～3）の定点当たり報告数は、2025年第48週以降、減少傾向が続いていたものの、今週は前週と比較してわずかに増加し、やや多い状況にある。年齢階級別では、14歳以下の報告が全体の約55%であった。保健所別では、南部（9.60→19.80）保健所管内で大きく増加した。基幹定点におけるインフルエンザ（入院）の報告数は12人（前週21人）であり、第48週以降、減少傾向が続いている。新型コロナウイルス感染症（2.15*→2.39:図2）の定点当たり報告数は、前週と比較してわずかに増加した。保健所別では、秩父（1.00→4.00）、坂戸（1.50→4.00）保健所管内で大きく増加した。基幹定点における新型コロナウイルス感染症（入院）の報告は20人（前週12人）であり、前週と比較して増加した。感染性胃腸炎（7.31*→9.09:図3）の定点当たり報告数は、前週と比較して増加し、やや多い状況にある。保健所別では、鴻巣（6.29→20.14）、坂戸（11.00→20.33）、春日部（17.67→26.67）保健所管内で大きく増加した。急性呼吸器感染症（65.51*→62.50:図4）の定点当たり報告数は、前週と同水準であった。眼科定点報告疾患では、急性出血性結膜炎1人、流行性角結膜炎10人の報告があった。基幹定点報告疾患では、無菌性髄膜炎1人、マイコプラズマ肺炎7人の報告があった。

* 遅れ報告・修正報告を反映した値を掲載。

<インフルエンザ流行情報>

図 1-1 インフルエンザの定点当たり報告数の推移

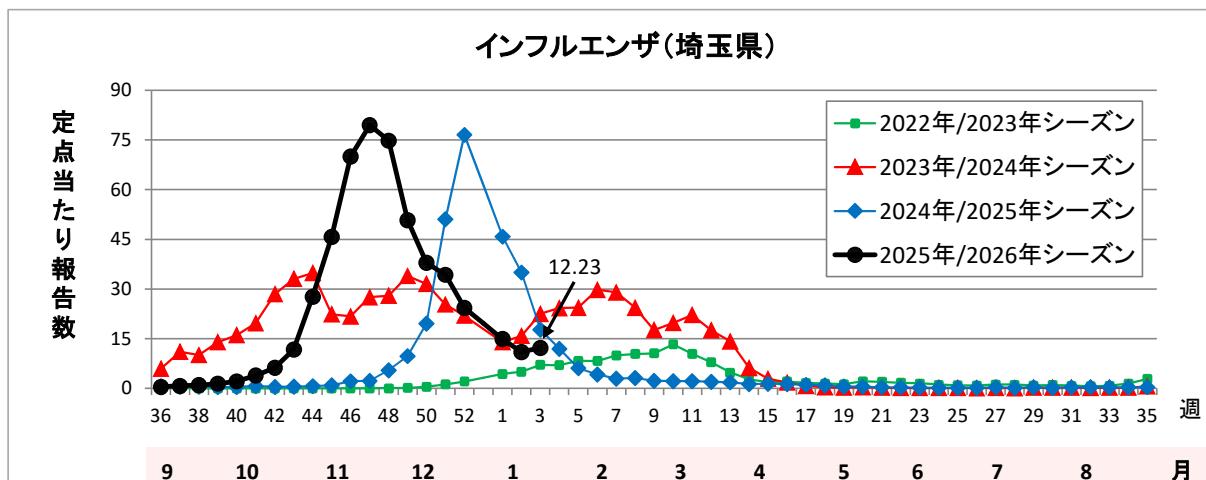


図 1-2 インフルエンザ（入院）の年齢階級別報告数

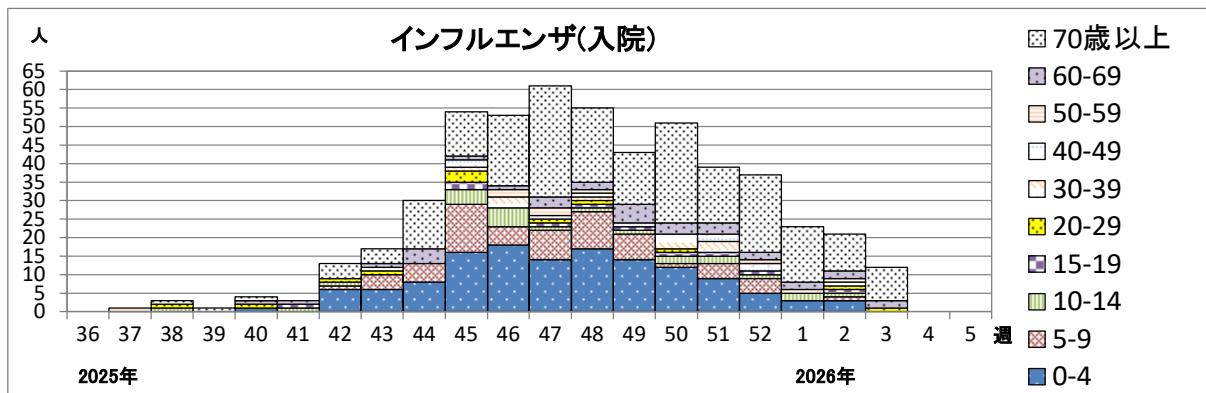
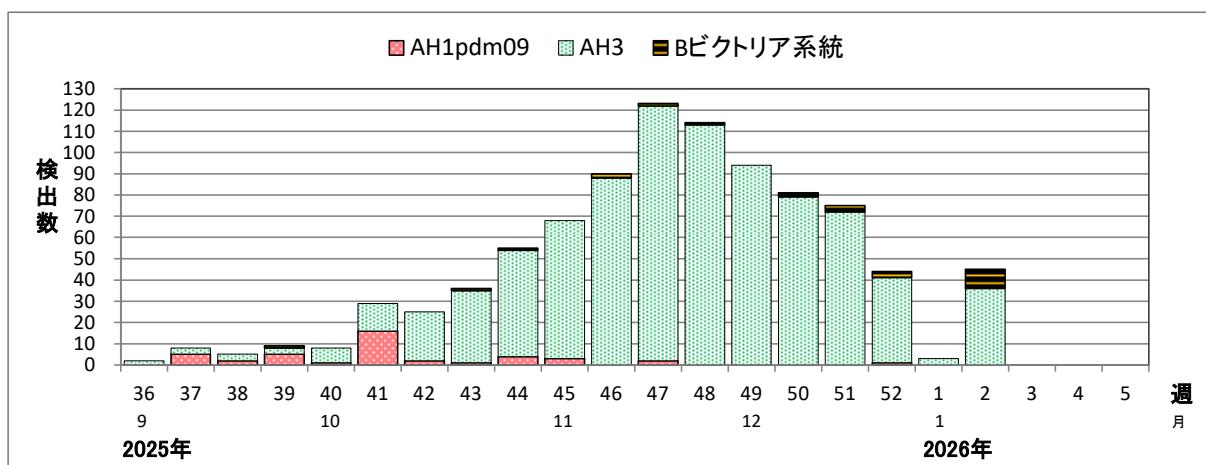


図 1-3 インフルエンザウイルスの週別検出状況



2025年第52週及び2026年第2週に採取された急性呼吸器感染症検体のうち、インフルエンザが検出され型別が終了した検体について、第52週（44検体）ではAH1pdm型が1件（2.3%）、AH3型が40件（90.9%）、Bビクトリア系統が3件（6.8%）でした。

これに対し、第2週（45検体）ではAH3型が36件（80.0%）、Bビクトリア系統が9件（20.0%）であり、Bビクトリア系統の割合が増加しています。

＜今週の注目される定点把握対象疾患の推移＞

図2 新型コロナウイルス感染症の定点当たり報告数の推移

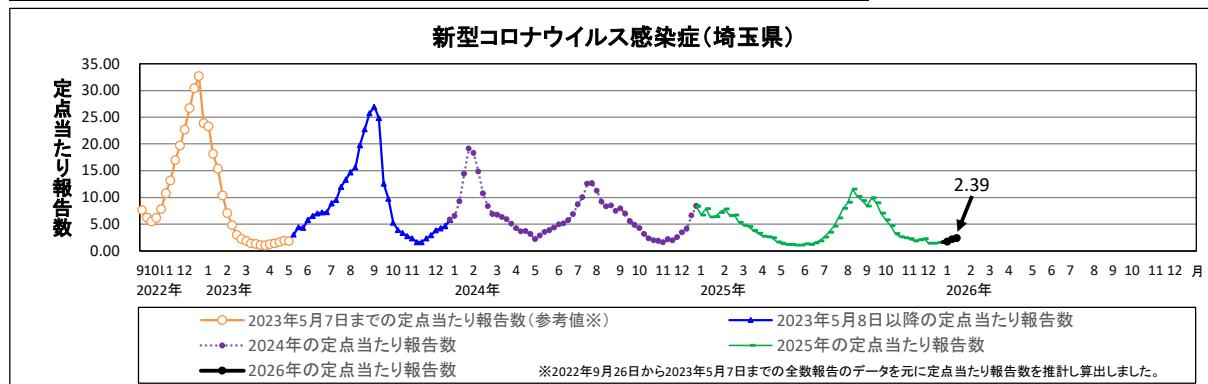


図3 感染性胃腸炎の定点当たり報告数の推移

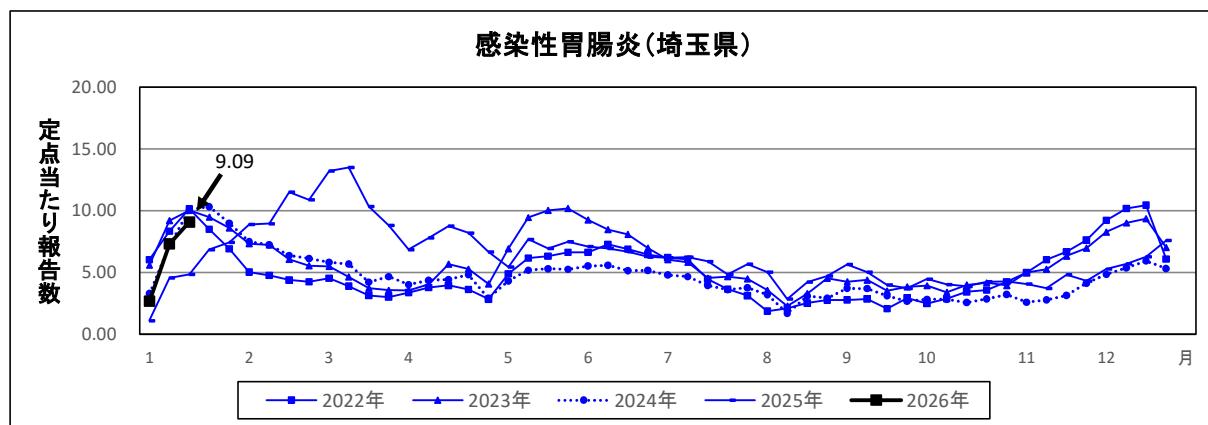
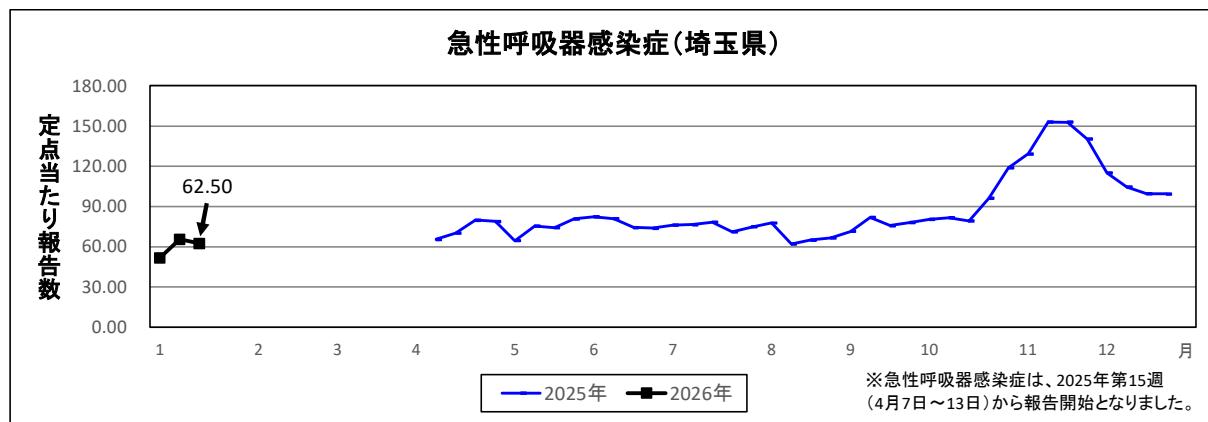


図4 急性呼吸器感染症の定点当たり報告数の推移



**感染症発生状況(全数把握対象疾患)
(第3週)**

(2026年1月20日 15:00集計)

	今週 届出	累 計	2025年 累計		今週 届出	累 計	2025年 累計
一類感染症							
エボラ出血熱				ペスト			
クリミア・コンゴ出血熱				マールブルグ病			
痘そう				ラッサ熱			
南米出血熱							
二類感染症							
急性灰白髄炎				中東呼吸器症候群(MERS)			
結核 * 1	-	-	-	鳥インフルエンザ(H5N1)			
ジフテリア				鳥インフルエンザ(H7N9)			
重症急性呼吸器症候群(SARS)							
三類感染症							
コレラ				腸チフス			4
細菌性赤痢				5 パラチフス			
腸管出血性大腸菌感染症	2	6	181				
四類感染症							
E型肝炎	1	2	41	東部ウマ脳炎			
ウェストナイル熱				鳥インフルエンザ(H5N1及びH7N9を除く)			
A型肝炎				9 ニパウイルス感染症			
エキノコックス症				日本紅斑熱			1
エムポックス				日本脳炎			
黄熱				ハンタウイルス肺症候群			
オウム病				1 Bウイルス病			
オムスク出血熱				鼻疽			
回帰熱				ブルセラ症			1
キャサヌル森林病				ベネズエラウマ脳炎			
Q熱				ヘンドラウイルス感染症			
狂犬病				発しんチフス			
コクシジオイデス症				ボツリヌス症			
ジカウイルス感染症				マラリア			3
重症熱性血小板減少症候群				野兎病			
腎症候性出血熱				ライム病			
西部ウマ脳炎				リッサウイルス感染症			
ダニ媒介脳炎				リフトバレー熱			
炭疽				類鼻疽			
チケングニア熱				1 レジオネラ症	1	4	105
つつが虫病				4 レプトスピラ症			2
デング熱				5 ロッキー山紅斑熱			
五類感染症							
アメーバ赤痢	2	2	16	侵襲性肺炎球菌感染症	3	5	154
ウイルス性肝炎(E型・A型を除く)		2	12	水痘(入院例に限る)	1	1	29
カルバペネム耐性腸内細菌目細菌感染症	1	2	67	先天性風しん症候群			
急性弛緩性麻痺(急性灰白髄炎を除く)			5	梅毒	12	22	524
急性脳炎		1	71	播種性クリプトコックス症			4
クリプトスボリジウム症			1	破傷風		1	7
クロイツフェルト・ヤコブ病			11	パンコマイシン耐性黄色ブドウ球菌感染症			
劇症型溶血性レンサ球菌感染症	3	6	68	パンコマイシン耐性腸球菌感染症			3
後天性免疫不全症候群	1	2	31	百日咳	17	35	4904
ジアルジア症				風しん			
侵襲性インフルエンザ菌感染症			23	麻しん			13
侵襲性髄膜炎菌感染症		1	5	薬剤耐性アシнетバクター感染症			

累計は診断週で集計

* 1 結核は月単位で集計、別に掲載します。

結核届出状況(2025年12月分)

2025年12月の届出総数は、患者35人、無症状病原体保有者16人の計51人であった。前月と比べると患者数は減少し、無症状病原体保有者数は同水準であった。過去1年と比べると、患者数、無症状病原体保有者数ともに同水準であった。推定感染地域は国内29人、国外9人、不明13人であった。

表1 診断月別の届出数の推移(2024年12月～2025年12月)

	2024年*	2025年												累計**
		1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	
総計	76	64	51	57	59	61	68	55	40	48	57	51	668	
年齢階級														
10歳未満	1	2	4	2	1	2	0	0	1	1	0	1	0	14
10歳代	2	0	1	0	0	4	0	1	1	0	0	2	2	11
20歳代	11	7	5	7	5	7	8	8	6	8	12	9	5	87
30歳代	6	5	2	3	3	5	6	5	2	1	5	5	6	48
40歳代	4	1	5	8	5	4	6	3	6	4	5	6	1	54
50歳代	7	14	6	2	10	5	8	4	4	7	7	5	5	77
60歳代	9	5	7	7	4	5	8	10	1	5	2	4	3	61
70歳代	10	13	8	11	7	9	14	7	2	9	10	9	10	109
80歳代	17	8	12	11	11	13	12	15	12	10	14	12	13	143
90歳以上	9	9	1	6	13	7	6	2	5	3	2	4	6	64
性														
男	44	43	30	33	41	26	41	33	20	33	29	22	29	380
女	32	21	21	24	18	35	27	22	20	15	28	35	22	288
類型														
患者	43	33	29	35	40	38	48	38	29	36	37	40	35	438
感染症死者の死体	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
感染症死亡疑い者の死体	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
疑似症患者	0	1	0	0	0	1	0	0	1	0	0	1	0	4
無症状病原体保有者	33	30	22	22	19	22	20	17	10	12	20	16	16	226
病型														
肺結核	30	22	22	27	28	23	27	24	17	24	21	25	22	282
肺結核及びその他の結核	5	3	3	2	6	4	5	4	5	2	6	7	2	49
その他の結核	8	8	4	6	6	11	16	10	7	10	10	8	11	107
疑似症患者	0	1	0	0	0	1	0	0	1	0	0	1	0	4
無症状病原体保有者	33	30	22	22	19	22	20	17	10	12	20	16	16	226
推定感染地域														
国内	50	37	28	35	24	35	40	31	18	24	29	34	29	364
国外	6	10	4	5	3	4	8	4	6	5	7	8	9	73
不明	20	17	19	17	32	22	20	20	16	19	21	15	13	231

*:2024年の届出数は暫定値

**:2025年1月からの累積届出数

12月に診断された51人を病型別にみると、肺結核は10歳代以上の年齢階級から計22人の報告があり、70歳代以上が13人で約59%であった。

表2 年齢階級別病型別の届出数(2025年12月分)

	年齢階級	病 型					総計
		肺結核	肺結核及び その他の結核	その他の結核	疑似症患者	無症状病原体 保有者	
総計	22	2	11	0	16	51	
年齢階級							
10歳未満	0	0	0	0	0	0	0
10歳代	1	0	0	0	1	1	2
20歳代	2	0	2	0	1	1	5
30歳代	1	0	3	0	2	2	6
40歳代	1	0	0	0	0	0	1
50歳代	4	0	0	0	1	1	5
60歳代	0	0	0	0	3	3	3
70歳代	3	1	2	0	4	4	10
80歳代	8	1	2	0	2	2	13
90歳以上	2	0	2	0	2	2	6

感染症発生状況(定点把握対象疾患)			報告患者数										保健所別			(2026年第3週)			1月12日～1月18日)			
保健所		インフルエンザ 新型コロナウイルス症 #1	急性呼吸器感染症 インフルエンザ 新型コロナウイルス症	R S ウイルス感染症	咽頭結膜熱	A群溶血性球菌咽頭炎	感染性胃腸炎	水痘	手足口病	伝染性紅斑	突発性発しん	ヘルパンギーナ	流行性耳下腺炎	急性出血性結膜炎	流行性角結膜炎	細菌性結膜炎	無菌性結膜炎	マイコプラズマ肺炎	クラミジア肺炎	感染性胃腸炎 (ロタウイルスに限る)	インフルエンザ (入院) 新型コロナウイルス症	
全 県	報告数	2,153	420	11,000	48	13	306	1,009	46	9	6	29	4	4	1	10	-	1	7	-	-	12 20
	定点当たり	12.23	2.39	62.50	0.43	0.12	2.76	9.09	0.41	0.08	0.05	0.26	0.04	0.04	0.02	0.23	-	0.08	0.58	-	-	1.00 1.67
朝 霞	報告数	384	60	1,094	4	-	22	72	4	-	1	3	1	1	-	1	-	-	1	-	-	1 1
	定点当たり	24.00	3.75	68.38	0.40	-	2.20	7.20	0.40	-	0.10	0.30	0.10	0.10	-	0.20	-	-	1.00	-	-	1.00 1.00
鴻 川	報告数	243	27	1,109	1	2	58	141	8	-	-	3	-	1	-	-	*	*	*	*	*	*
	定点当たり	20.25	2.25	92.42	0.14	0.29	8.29	20.14	1.14	-	-	0.43	-	0.14	-	-	*	*	*	*	*	*
東 松 山	報告数	52	16	342	-	-	3	58	-	-	-	4	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	定点当たり	13.00	4.00	85.50	-	-	1.00	19.33	-	-	-	1.33	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
秩 父	報告数	39	16	110	2	-	2	1	-	-	-	-	-	-	*	*	-	-	-	-	-	-
	定点当たり	9.75	4.00	27.50	0.67	-	0.67	0.33	-	-	-	-	-	-	*	*	-	-	-	-	-	-
本 庄	報告数	22	11	133	-	-	3	3	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1
	定点当たり	5.50	2.75	33.25	-	-	1.00	1.00	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1.00
熊 谷	報告数	63	24	494	1	-	8	53	-	3	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1 -
	定点当たり	7.00	2.67	54.89	0.20	-	1.60	10.60	-	0.60	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1.00 -
加 須	報告数	57	11	169	-	-	8	-	-	-	-	1	-	-	2	-	-	2	-	-	-	2 -
	定点当たり	11.40	2.20	33.80	-	-	2.67	-	-	-	-	0.33	-	-	2.00	-	-	2.00	-	-	-	2.00 -
春 日 部	報告数	52	11	511	3	2	9	80	2	-	-	-	-	-	*	*	*	*	*	*	*	*
	定点当たり	8.67	1.83	85.17	1.00	0.67	3.00	26.67	0.67	-	-	-	-	-	*	*	*	*	*	*	*	*
幸 手	報告数	205	51	926	13	3	24	51	2	-	1	1	-	-	*	*	*	*	*	*	*	*
	定点当たり	22.78	5.67	102.89	2.60	0.60	4.80	10.20	0.40	-	0.20	0.20	-	-	*	*	*	*	*	*	*	*
坂 戸	報告数	24	16	259	-	-	3	61	1	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	5
	定点当たり	6.00	4.00	64.75	-	-	1.00	20.33	0.33	-	-	0.33	-	-	-	-	-	-	-	-	-	5.00
草 加	報告数	131	32	574	-	2	17	50	3	1	2	3	-	-	*	*	*	*	*	*	*	*
	定点当たり	11.91	2.91	52.18	-	0.29	2.43	7.14	0.43	0.14	0.29	0.43	-	-	*	*	*	*	*	*	*	*
狭 山	報告数	181	51	705	7	-	12	26	6	1	-	3	1	-	1	2	-	-	1	-	-	1 1
	定点当たり	13.92	3.92	54.23	0.70	-	1.20	2.60	0.60	0.10	-	0.30	0.10	-	0.20	0.40	-	-	1.00	-	-	1.00 1.00
南 部	報告数	99	8	654	7	-	31	34	1	1	2	2	-	-	-	-	-	1	-	-	-	1
	定点当たり	19.80	1.60	130.80	2.33	-	10.33	11.33	0.33	0.33	0.67	0.67	-	-	-	-	-	1.00	-	-	-	1.00
川 越 市	報告数	95	13	543	-	-	12	26	8	3	-	-	-	-	-	-	*	*	*	*	*	*
	定点当たり	10.56	1.44	60.33	-	-	2.40	5.20	1.60	0.60	-	-	-	-	-	*	*	*	*	*	*	*
越 谷 市	報告数	66	18	562	1	1	5	13	1	-	-	3	-	-	-	-	-	-	-	-	-	3 9
	定点当たり	8.25	2.25	70.25	0.20	0.20	1.00	2.60	0.20	-	-	0.60	-	-	-	-	-	-	-	-	-	3.00 9.00
川 口 市	報告数	184	27	833	3	1	30	69	1	-	-	-	-	1	-	2	-	-	-	-	-	2 1
	定点当たり	13.14	1.93	59.50	0.38	0.13	3.75	8.63	0.13	-	-	-	-	0.13	-	0.50	-	-	-	-	-	2.00 1.00
さいたま市	報告数	256	28	1,982	6	2	59	271	9	-	-	6	1	1	-	3	-	1	2	-	-	2 1
	定点当たり	5.95	0.65	46.09	0.21	0.07	2.11	9.68	0.32	-	-	0.21	0.04	0.04	-	0.33	-	1.00	2.00	-	-	2.00 1.00

(- : 0.00) #1 鳥インフルエンザを除く

#2 真菌性を含む #3 オウム病を除く

1月 20 日 13:15 集計

感染症発生状況(定点把握対象疾患)

報告患者数

年齢別

(2026年第3週)

1月12日～1月18日

	合計	-6ヶ月	-12ヶ月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10-14	15-19	20-29	30-39	40-49	50-59	60-69	70-79	80～	
インフルエンザ #1	2,153	6	20	52	74	72	99	95	135	84	85	87	383	188	250	173	125	108	55	38	24	
新型コロナウイルス感染症	420	8	9	18	10	5	7	5	6	1	8	4	14	10	47	49	37	55	41	42	44	
	合計	0歳	1-4	5-9	10-14	15-19	20-29	30-39	40-49	50-59	60-69	70-79	80～									
急性呼吸器感染症	11,000	580	3,251	2,400									1,105	524	630	621	521	494	334	301	239	
	合計	-6ヶ月	-12ヶ月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10-14	15-19	20～							
RSウイルス感染症	48	8	10	19	5	3	2	1	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	
咽頭結膜熱	13	—	—	6	—	3	1	1	2	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	306	—	—	9	16	23	42	43	25	27	28	21	46	4	22							
感染性胃腸炎	1,009	8	56	138	139	91	69	75	73	60	44	36	100	32	88							
水痘	46	2	1	2	6	3	2	3	5	2	6	1	10	3	—							
手足口病	9	—	—	3	4	1	—	1	—	—	—	—	—	—	—							
伝染性紅斑	6	1	—	2	—	1	—	—	—	—	2	—	—	—	—							
突発性発しん	29	—	4	18	5	—	2	—	—	—	—	—	—	—	—							
ヘルパンギーナ	4	—	—	2	1	—	—	—	—	—	—	1	—	—	—							
流行性耳下腺炎	4	—	—	—	2	—	1	—	—	1	—	—	—	—	—							
	合計	-6ヶ月	-12ヶ月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10-14	15-19	20-29	30-39	40-49	50-59	60-69	70～		
急性出血性結膜炎	1	—	—	—	1	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	
流行性角結膜炎	10	—	—	—	—	—	1	—	—	—	—	1	—	—	4	—	2	—	2	—	—	
	合計	0歳	1-4	5-9	10-14	15-19	20-24	25-29	30-34	35-39	40-44	45-49	50-54	55-59	60-64	65-69	70～					
細菌性髄膜炎 #2	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	
無菌性髄膜炎	1	1	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	
マイコプラズマ肺炎	7	—	—	1	3	1	2	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	
クラミジア肺炎 #3	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	
感染性胃腸炎(ロタウイルスに限る)	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	
インフルエンザ(入院)	12	—	—	—	—	—	—	1	—	—	—	—	—	—	—	1	1	9				
新型コロナウイルス感染症(入院)	20	—	—	—	1	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	1	—	18				

※ 表中の数値は各定点からの報告数 (- : 0)

#1 鳥インフルエンザを除く

#2 真菌性を含む

#3 オウム病を除く

全国・関東情報

第52週 (12月22日～12月28日)

令和8年1月21日

<全国情報>

急性呼吸器感染症定点報告疾患(報告定点数:3,844): インフルエンザの定点当たり報告数は第48週以降減少が続いている。都道府県別の上位3位は宮崎県(62.57)、鹿児島県(48.00)、佐賀県(39.88)である。基幹定点からのインフルエンザ入院サーベイランスにおける報告数は1,401例と前週と比較して減少した。都道府県別では47都道府県から報告があり、年齢群別では0歳(78例)、1～9歳(328例)、10代(90例)、20代(30例)、30代(27例)、40代(26例)、50代(63例)、60代(101例)、70代(203例)、80歳以上(455例)であった。新型コロナウイルス感染症の定点当たり報告数は2週連続で増加した。都道府県別の上位3位は北海道(4.89)、岩手県(3.40)、新潟県(3.29)である。基幹定点からの新型コロナウイルス感染症入院サーベイランスにおける報告数は612例と前週と比較して減少した。都道府県別では45都道府県から報告があり、年齢群別では0歳(14例)、1～9歳(19例)、10代(5例)、20代(8例)、30代(11例)、40代(8例)、50代(30例)、60代(60例)、70代(167例)、80歳以上(290例)であった。急性呼吸器感染症(報告定点数:3,831)定点当たり報告数は第48週以降減少が続いている。都道府県別の上位3位は群馬県(105.24)、埼玉県(99.52)、宮崎県(95.93)である。

小児科定点報告疾患(主なもの)(報告定点数:2,341): RSウイルス感染症の定点当たり報告数は3週連続で増加し、過去5年間の同時期(前週、当該週、後週)の平均と比較してかなり多い。都道府県別の上位3位は和歌山県(2.26)、北海道(2.11)、奈良県(1.79)である。咽頭結膜熱の定点当たり報告数は第49週以降増加が続いている。都道府県別の上位3位は宮崎県(3.07)、島根県(1.27)、福岡県(0.86)である。A群溶血性レンサ球菌咽頭炎の定点当たり報告数は第49週以降増加が続いている。過去5年間の同時期の平均と比較してやや多い。都道府県別の上位3位は茨城県(5.97)、北海道(5.64)、愛媛県(5.55)である。感染性胃腸炎の定点当たり報告数は第49週以降増加が続いている。都道府県別の上位3位は群馬県(11.28)、大分県(9.56)、東京都(8.69)である。水痘の定点当たり報告数は3週連続で増加し、過去5年間の同時期の平均と比較してかなり多い。都道府県別の上位3位は岩手県(1.33)、島根県(1.18)、福井県(0.92)である。手足口病の定点当たり報告数は第38週以降減少が続いている。都道府県別の上位3位は福井県(0.36)、佐賀県(0.33)、熊本県(0.29)である。伝染性紅斑の定点当たり報告数は3週連続で減少した。都道府県別の上位3位は宮崎県(2.40)、鹿児島県(2.03)、熊本県(1.69)である。ヘルパンギーナの定点当たり報告数は増加した。都道府県別の上位2位は福岡県(0.13)、福島県(0.11)、富山県(0.11)、石川県(0.11)である。流行性耳下腺炎の定点当たり報告数は減少した。都道府県別の上位2位は佐賀県(0.08)、熊本県(0.08)、栃木県(0.07)である。

基幹定点報告疾患: マイコプラズマ肺炎の定点当たり報告数は3週連続で減少した。都道府県別の上位3位は群馬県(1.78)、愛知県(1.73)、岐阜県(1.60)である。感染性胃腸炎(ロタウイルスに限る)の定点当たり報告数は減少した。6都道府県から6例報告があり、年齢群別では0歳(1例)、1～4歳(2例)、5～9歳(2例)、10代(1例)であった。

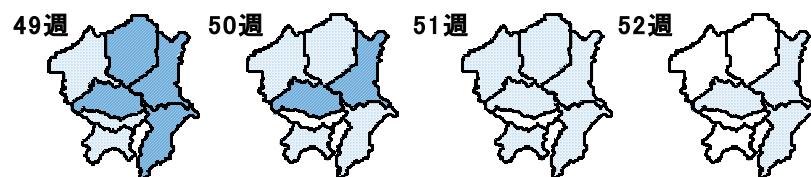
Infectious Diseases Weekly Report Japan 2025年 第52週(12月22日～12月28日):通巻第27巻 第52号 より

<関東情報>

インフルエンザの定点当たり報告数は、茨城県(25.52)、千葉県(24.68)、埼玉県(24.41)からの報告が多い。

インフルエンザ

- 35.00 以上
- 20.00 ~ 35.00
- 20.00 未満



2025年 52週

	全国	関東地域	茨城県	栃木県	群馬県	埼玉県	千葉県	東京都	神奈川県
インフルエンザ #1	87,534	21,981	1,710	806	878	4,248	4,443	5,592	4,304
報告数	22.77	18.80	25.52	17.15	19.51	24.41	24.68	13.44	17.93
定点当たり									
新型コロナウイルス感染症	5,068	1,333	122	110	47	287	242	304	221
報告数	1.32	1.14	1.82	2.34	1.04	1.65	1.34	0.73	0.92
定点当たり									
急性呼吸器感染症	281,298	94,668	5,846	4,345	4,736	17,515	15,272	27,578	19,376
報告数	73.43	81.26	87.25	92.45	105.24	99.52	85.32	66.29	82.45
定点当たり									
RSウイルス感染症	1,709	275	14	29	17	51	16	64	84
報告数	0.73	0.39	0.38	1.07	0.68	0.46	0.14	0.24	0.60
定点当たり									
咽頭結膜熱	861	199	22	4	14	39	24	66	30
報告数	0.37	0.28	0.59	0.15	0.56	0.35	0.22	0.25	0.21
定点当たり									
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	6,557	2,391	221	107	57	396	451	689	470
報告数	2.80	3.36	5.97	3.96	2.28	3.60	4.06	2.63	3.36
定点当たり									
感染性胃腸炎	13,079	5,667	312	147	282	817	744	2,277	1,088
報告数	5.59	7.96	8.43	5.44	11.28	7.43	6.70	8.69	7.77
定点当たり									
水痘	949	308	15	10	7	44	45	117	70
報告数	0.41	0.43	0.41	0.37	0.28	0.40	0.41	0.45	0.50
定点当たり									
手足口病	131	22	1	-	-	1	7	7	6
報告数	0.06	0.03	0.03	-	-	0.01	0.06	0.03	0.04
定点当たり									
伝染性紅斑	997	74	1	2	4	15	14	24	14
報告数	0.43	0.10	0.03	0.07	0.16	0.14	0.13	0.09	0.10
定点当たり									
突発性発しん	516	155	8	5	13	31	17	53	28
報告数	0.22	0.22	0.22	0.19	0.52	0.28	0.15	0.20	0.20
定点当たり									
ヘルパンギーナ	67	12	2	-	1	3	-	4	2
報告数	0.03	0.02	0.05	-	0.04	0.03	-	0.02	0.01
定点当たり									
流行性耳下腺炎	73	30	-	2	1	5	4	12	6
報告数	0.03	0.04	-	0.07	0.04	0.05	0.04	0.05	0.04
定点当たり									
急性出血性結膜炎	3	1	-	-	-	1	-	-	-
報告数	0.00	0.00	-	-	-	0.02	-	-	-
定点当たり									
流行性角結膜炎	372	97	22	8	9	8	16	10	24
報告数	0.54	0.47	1.29	0.67	0.64	0.19	0.48	0.26	0.50
定点当たり									
細菌性髄膜炎 #2	7	2	-	-	-	1	1	-	-
報告数	0.01	0.02	-	-	-	0.08	0.11	-	-
定点当たり									
無菌性髄膜炎	15	6	-	-	-	1	2	2	1
報告数	0.03	0.07	-	-	-	0.08	0.22	0.08	0.08
定点当たり									
マイコプラズマ肺炎	339	73	16	10	16	11	2	10	8
報告数	0.71	0.84	1.23	1.43	1.78	0.92	0.22	0.40	0.67
定点当たり									
クラミジア肺炎 #3	3	1	-	-	-	-	-	1	-
報告数	0.01	0.01	-	-	-	-	-	0.04	-
定点当たり									
感染性胃腸炎(ロタウイルスに限る)	6	1	-	-	-	-	-	1	-
報告数	0.01	0.01	-	-	-	-	-	0.04	-
定点当たり									

#1 烟インフルエンザを除く

#2 真菌性を含む

#3 オウム病を除く

(-0.00)

感染症発生動向調査 2026年

▶ 感染症の流行状況 2026年
第1週

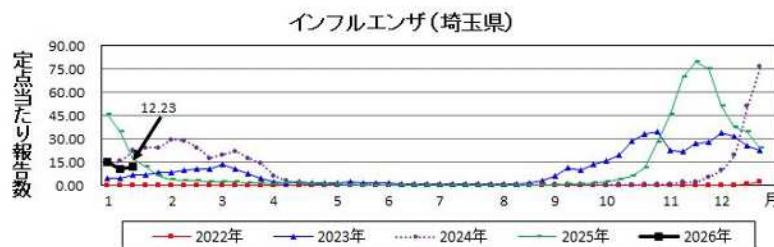
▶ 感染症の流行状況 2026年
第2週

感染症の流行状況 2026年 第3週

2026年第3週（1月12日～1月18日）の要点

インフルエンザの定点当たり報告数は、2025年第48週以降、減少傾向が続いていたものの、わずかに増加し、やや多い状況にあります。

感染予防のため、咳エチケット、外出後の手洗いとともに、十分な休養をとるよう心掛けてください。また、体調がすぐれない時は、医療機関に電話で相談の上、早めに受診してください。



感染症流行状況

疾患	推移	流行状況	疾患	推移	流行状況
<u>インフルエンザ</u>	↑	★★	<u>手足口病</u>	→	★
<u>新型コロナウイルス感染症</u>	↑	—	<u>伝染性紅斑（りんご病）</u>	→	★
<u>急性呼吸器感染症</u>	→	—	<u>突発性発しん</u>	→	★
<u>RSウイルス感染症</u>	→	★	<u>ヘルパンギーナ</u>	→	★
<u>咽頭結膜熱（プール熱）</u>	→	★	<u>流行性耳下腺炎（おたふくかぜ）</u>	→	★
<u>A群溶血性レンサ球菌咽頭炎</u>	→	★	<u>急性出血性結膜炎</u>	→	★
<u>感染性胃腸炎</u>	↑	★★	<u>流行性角結膜炎</u>	→	★
<u>水痘（みずぼうそう）</u>	↓	★			

*1.推移、流行状況は、県内全域の傾向です。*2.推移は2週間前からの傾向を示します。（→:増減無し、↑:増加、↓:減少）*3.流行状況は今週の流行を示します。（小さい→★、★★、★★★→大きい）*4.2025年第14週から定点医療機関の指定数が変更となりました。

疾患名をクリックすると、各疾患の流行状況のグラフがご覧いただけます。

この情報は毎週水曜日に更新する予定です。ただし、祝日等により変更の場合もあります。

また、全国の感染症発生動向状況については、国立健康危機管理研究機構のホームページ「[感染症情報提供サイト](#)」でご覧になれます。



埼玉県のマスコット コバトン